

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 一正蒲鉾株式会社

コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野崎 正博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 滝沢 昌彦

TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	27,169	7.5	1,512	△4.8	1,456	△7.7	1,487	75.4
25年6月期第3四半期	25,264	1.8	1,589	△27.4	1,577	△27.5	847	△18.5

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 1,630百万円 (53.0%) 25年6月期第3四半期 1,066百万円 (△5.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	160.57	—
25年6月期第3四半期	91.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第3四半期	23,633	8,976	38.0	969.12
25年6月期	21,101	7,505	35.6	810.59

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 8,976百万円 25年6月期 7,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,200	6.2	1,200	△16.1	1,200	△15.8	1,200	99.8	129.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日公表の「平成26年6月期通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) (株)オリエントプラン
、 除外 2社 (社名) (株)マルヨシフーズ

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期3Q	9,295,000 株	25年6月期	9,295,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年6月期3Q	32,263 株	25年6月期	35,555 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期3Q	9,261,817 株	25年6月期3Q	9,260,035 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年7月1日～平成26年3月31日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和政策の影響により、企業収益が改善傾向を示すなど、景気は緩やかな回復基調であるものの、円安による原材料価格の高騰や消費税増税後の個人消費の停滞懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、節約志向・低価格志向は依然として根強く、消費者ニーズの多様化や価格競争の継続など、厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高271億69百万円（前年同四半期比19億4百万円（7.5%）の増加）、営業利益は15億12百万円（前年同四半期比77百万円（4.8%）の減少）、経常利益は14億56百万円（前年同四半期比1億20百万円（7.7%）の減少）、四半期純利益は14億87百万円（前年同四半期比6億39百万円（75.4%）の増加）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、アベノミクス効果による景気動向の活発化はまだ目に見える状況までには至っておりません。

1月以降は全国的に寒さが続き、2月の関東甲信越・東北地方における記録的大雪による影響もありましたが、秋冬期間の需要は堅調に推移いたしました。

商品及び販売施策におきましては、前年度より実施した主力商品のリニューアルによる商品力の向上と商品育成を目指した販売促進の強化を推進してまいりました。また、秋冬期間の主力商品である調理済みおでんセット・おでん種は、旺盛な需要に支えられ好調な販売結果を残すことができました。

以上の結果、当セグメントの売上高は231億24百万円（前年同四半期比16億97百万円（7.9%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は8億39百万円（前年同四半期は8億87百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、昨夏の市場全体での生産量調整や昨秋以降の全国的な多雨、台風等の気象環境に加え、2月の関東甲信越・東北地方における記録的大雪などの影響により野菜価格の高騰が続いたこともあり、きのこ価格は堅調に推移いたしました。

このような環境のなか、販売強化に継続的に取り組み、売上高は前年同四半期を上回ったものの、利益は前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は35億7百万円（前年同四半期比1億61百万円（4.8%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は6億23百万円（前年同四半期は6億28百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③ その他

（運送・倉庫事業）

運送事業におきましては、既存のお客様との取引深耕や新規のお客様との取引拡大が寄与したことに加え、物流機能の効率化により、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、保管在庫数量は低迷したものの新規在庫数量の増加に加え、効率的な庫内管理に努めたことにより、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

(ゴルフ場事業)

当事業におきましては、プレー料金の低価格競争に加え、昨春先の降雪によるクローズ、昨夏の猛暑など天候不順の影響を受け、来場者数、売上高ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は5億37百万円（前年同四半期比44百万円（9.1%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は81百万円（前年同四半期は56百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

なお、平成26年3月においてゴルフ場事業を譲渡いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は71億1百万円（前連結会計年度末比5億40百万円の増加）となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は165億32百万円（前連結会計年度末比19億91百万円の増加）となりました。これは主に水産練製品製造設備の機械装置及び運搬具の増加ならびに海外連結子会社の工場建設に伴う建設仮勘定の増加によるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は82億5百万円（前連結会計年度末比1億79百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の増加及び未払法人税等の減少によるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は64億51百万円（前連結会計年度末比8億81百万円の増加）となりました。これは主に社債の増加及び長期借入金の増加によるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加により89億76百万円（前連結会計年度末比14億71百万円の増加）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の35.6%から38.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期の連結業績予想につきましては、平成25年8月6日に公表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成26年6月期通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社オリエントプランの全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社マルヨシフーズは清算終了に伴い、連結の範囲より除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,567,664	2,033,901
売掛金	2,848,705	2,920,562
商品及び製品	435,596	336,183
仕掛品	475,573	303,624
原材料及び貯蔵品	1,051,061	1,011,692
その他	183,397	496,009
貸倒引当金	△821	△713
流動資産合計	6,561,177	7,101,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,312,178	5,258,275
機械装置及び運搬具(純額)	2,526,492	2,657,425
工具、器具及び備品(純額)	142,990	115,230
土地	3,537,575	3,366,383
リース資産(純額)	34,228	25,551
建設仮勘定	187,230	2,074,450
有形固定資産合計	11,740,695	13,497,317
無形固定資産		
377,160		392,460
投資その他の資産		
投資有価証券	1,895,850	1,956,365
その他	590,623	719,038
貸倒引当金	△64,160	△33,122
投資その他の資産合計	2,422,313	2,642,281
固定資産合計	14,540,169	16,532,059
資産合計	21,101,346	23,633,319
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,542,510	1,537,914
短期借入金	3,727,880	4,359,926
未払法人税等	448,773	9,579
賞与引当金	55,730	216,409
未払金及び未払費用	1,568,930	1,305,135
その他	682,153	776,437
流動負債合計	8,025,978	8,205,401
固定負債		
社債	2,115,000	2,700,000
長期借入金	2,773,324	3,142,312
退職給付引当金	1,003	—
役員退職慰労引当金	149,953	177,434
その他	530,516	431,512
固定負債合計	5,569,796	6,451,258
負債合計	13,595,774	14,656,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	5,314,467	6,639,377
自己株式	△17,804	△15,457
株主資本合計	6,886,662	8,213,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	538,062	623,264
為替換算調整勘定	80,847	139,474
その他の包括利益累計額合計	618,909	762,739
純資産合計	7,505,572	8,976,659
負債純資産合計	21,101,346	23,633,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	25,264,733	27,169,478
売上原価	18,314,328	19,851,812
売上総利益	6,950,405	7,317,665
販売費及び一般管理費	5,361,156	5,805,432
営業利益	1,589,248	1,512,232
営業外収益		
受取利息	175	1,220
受取配当金	11,774	13,350
受取賃貸料	13,787	11,160
受取手数料	10,335	14,417
雑収入	48,543	26,407
営業外収益合計	84,615	66,557
営業外費用		
支払利息	77,079	97,489
為替差損	—	16,203
雑損失	19,557	8,712
営業外費用合計	96,637	122,405
経常利益	1,577,226	1,456,384
特別利益		
固定資産売却益	1,268	6,314
受取賠償金	14,918	1,301
補助金収入	—	51,579
受取保険金	—	14,173
事業譲渡益	—	50,265
関係会社清算益	—	23,318
特別利益合計	16,186	146,951
特別損失		
固定資産除却損	12,088	10,913
固定資産売却損	679	322
投資有価証券評価損	3,345	369
工場移転費用	67,132	—
特別損失合計	83,244	11,604
税金等調整前四半期純利益	1,510,168	1,591,731
法人税、住民税及び事業税	735,257	102,760
法人税等調整額	△72,959	1,817
法人税等合計	662,298	104,578
少数株主損益調整前四半期純利益	847,870	1,487,153
四半期純利益	847,870	1,487,153

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	847,870	1,487,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218,438	85,201
為替換算調整勘定	—	58,627
その他の包括利益合計	218,438	143,829
四半期包括利益	1,066,309	1,630,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,066,309	1,630,982
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,426,962	3,345,415	24,772,378	492,355	25,264,733	—	25,264,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,201,568	1,201,568	△1,201,568	—
計	21,426,962	3,345,415	24,772,378	1,693,923	26,466,302	△1,201,568	25,264,733
セグメント利益	887,528	628,626	1,516,155	56,666	1,572,821	16,427	1,589,248

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額16,427千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,124,944	3,507,286	26,632,230	537,247	27,169,478	—	27,169,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,772,843	1,772,843	△1,772,843	—
計	23,124,944	3,507,286	26,632,230	2,310,090	28,942,321	△1,772,843	27,169,478
セグメント利益	839,583	623,647	1,463,230	81,730	1,544,960	△32,727	1,512,232

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。なお、平成26年3月においてゴルフ場事業を譲渡いたしました。

2 セグメント利益の調整額△32,727千円は、セグメント間取引消去18,920千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△51,648千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。